

# 雲りの青空

福井の女性キャリア相談記

松岡 幸代

13

「この前、仲のいい同僚がリストラに遭いました。もしや次は私では？」と thoughts、とても不安なんです。Gさんは伏し目がちにそう話した。

県内の繊維製造業の工場で、パートとして働くGさん。この工場に勤めてもう20年になる。パートとはいえ、正社員並みに仕事を任されて毎日頑張っている。公私を問わず、困っていることは何でもGさんのところに集まってくるので「頼りになるお姉さん」として、みんなから慕われているらしい。和気あいあい、お互い助け合って困難を乗り越えてきた職場の雰囲気は、とてもよかった。この不況に見舞われるまでは…。

「みんなで力を合わせて、あんなに頑張ってきたのに」と悔しがるGさんの口から、厳しい現実が語られた。

今年に入ってからガクンと仕事が減り、そのころから少しずつ職場の雰囲気が変わってきた。何となく空気が重く、みんな暗い表情。中には、

## リストラへの不安

# 転職視野気分前向きに

互いを思いやる気持ちさえ忘れてしまったかのような態度を取る人も出てきた。追い打ちをかけるように、いよいよリストラが始まった。そして先日、年ごろもキャリアもよく似た仲の

ことだけを思っただけで、今までは頑張ってきたんです。なのに、裏切られた感じなんです。Gさんは、憤りとむなしさの入り混じった表情を見せた。私はさらに「次のリストラが自分ではないかと思うと、とても不安なんですよね」と言つと、「そう、とっても不安です。ミスが重大事故につながる仕事なのに、それはつかり

た。Gさんは少し考えて、「一番は『明日から来なくていい』と突然言われることですかね」と答えた。「急に言われると困りますよね。じゃあ、万が一そう言われたときのために、今できることをやっておきましょう」と提案すると、Gさんも「そうですね、そうします」とやる気が出てきた感じ。

のくらい収入があればOKなのか。資格取得のことまで話が及んだ。「やっぱり資格が必要では…」と心配するGさんに、「転職に絶対必要なものではありませんが自信にはつながりません。説得力もありません。時間と金銭的に余裕があれば、頑張ってみるのもいいですね」と答えた。

いい同僚が去っていったのだ。

話した。

「うらんですね、こんなにも早くしてきたのに…」と話す、私、会社のこ

しほらく話を聞き、Gさんの気持ちが少し落ち着いたところで、「Gさんの感じる『不安』の正体って一体何でしょうかね？」と質問してみ

せ、Gさんにいろいろ質問した。▽仕事を選ぶ上で一番大事なことは何か▽今までの仕事でどんなことが楽しかったか▽どんなことに興味があるのか、そしてど

しない転職をするために、自分には何が必要なのか、焦らずもう一度考えてみます。今日は思い切って相談に来てよかったです。

前向きに変化したGさん。表情もうんと柔らかくなった。私にとって、これが至福の瞬間だ、とあらためてそう思った。



イラスト・多田くにお

(福井新聞社提供)